

## PRESS RELEASE

2017年3月24日  
株式会社三菱総合研究所

## 日銀短観（2017年3月調査）予測

株式会社三菱総合研究所（代表取締役社長 森崎孝 東京都千代田区永田町二丁目10番3号）では、4月3日（月）に日本銀行より発表される予定の「企業短期経済観測調査（日銀短観）2017年3月調査」の業況判断DIについて予測を行った。

大企業・全産業の業況判断DI	————	+ 17%ポイント（12月調査比 +3%ポイント）
同・製造業の業況判断DI	————	+ 14%ポイント（12月調査比 +4%ポイント）
同・非製造業の業況判断DI	————	+ 19%ポイント（12月調査比 +1%ポイント）

業況判断DI（大企業・全産業）は、+17%ポイント（12月調査から3%p上昇）と、2期連続での業況改善を予想する。海外需要の持ち直しを背景に、製造業を中心に業況改善を見込む。

製造業の業況判断DI（大企業）は、+14%ポイント（12月調査から4%p上昇）と予測する。機械、電子部品などの中国向け輸出の増加、在庫調整の進捗、昨年後半以降の円安進行のもとでの収益の改善などから、加工業種を中心に業況改善を見込む。

非製造業の業況判断DI（大企業）は、+19%ポイント（12月調査から1%p上昇）と予測する。卸売業は、製造業の生産活動の持ち直しにより業況が改善するとみられる。建設業や不動産業では、首都圏の再開案件などが業況改善要因となる。一方、運輸業や宿泊・飲食サービス業では、人手不足による人件費の上昇などが業況悪化要因となる。

先行きの業況判断DI（大企業）は、製造業は+13%ポイントと小幅悪化、非製造業は+19%ポイントと横ばいを予測する。国内の経済対策への期待が業況を下支えするものの、海外の政治・経済への不透明感の強まりなどが企業マインドの重石となると見込む。

## 日銀短観（2017年3月調査）業況判断DI 予測結果

「良い」-「悪い」 単位：%ポイント		実績		予測	
		2016年 9月	2016年 12月	2017年 3月	2017年 6月
		9月調査 「最近」	12月調査 「最近」	3月調査 「最近」	3月調査 「先行き」
大企業	全産業	12	14	17	16
	製造業	6	10	14	13
	非製造業	18	18	19	19
中堅企業	全産業	10	12	14	14
	製造業	3	6	10	9
	非製造業	15	16	17	17
中小企業	全産業	0	2	3	2
	製造業	▲3	1	4	3
	非製造業	1	2	2	1

注1：シャド一部分が2017年3月調査の予測値。

注2：「先行き」は、調査時点から3か月後を表す。

資料：実績は日本銀行「企業短期経済観測調査」、予測は三菱総合研究所。

## 《本件に関するお問合せ先》

株式会社 三菱総合研究所 〒100-8141 東京都千代田区永田町二丁目10番3号

政策・経済研究センター 田中康就 坂本貴志

電話：03-6705-6087 FAX：03-5157-2161 E-mail：yatanaka@mri.co.jp

広報部 吉澤・渋谷 電話：03-6705-6000 FAX：03-5157-2169 E-mail：media@mri.co.jp

尚、本資料は、内閣府記者クラブ、金融記者クラブに配布致します。